

令和5年度健康くまもと21推進会議

第2回 第4次熊本市歯科保健基本計画に関する策定委員会

開催日時 令和5年9月7日(金)

開催方法 書面開催

出席委員 9名(五十音順・敬称略)

片山 美智子、佐藤 成美、竹原 欣哉、田上 敬祐、永田 智恵子、中村 好郎、
中山 秀樹、松本 健次、渡辺 猛士

次第 Ⅰ 議題

第3次健康くまもと21基本計画(骨子案)について

議事

≪事務局 健康づくり推進課≫

議題Ⅰ 第3次健康くまもと21基本計画(骨子案)について

承認：9名 不承認：0名

○主なご意見

- ・メディア等の活用を通して、常に健康に関する情報に触れているような環境づくりも考えてほしい。
- ・食生活改善推進員、8020推進員の増加を見込むのは、なかなか難しいのではないかと思う。
- ・コロナの影響もあるかもしれないが、近年、人との関わりに消極的な保護者や地域役員が多く見受けられ、いろいろな交流の機会や研修への参加が一部の人に偏っているようにも思える。自治会や自治協議会への助言をもっと積極的にすすめてほしいと思う。
- ・健康意識の醸成と健康分野における地域コミュニティづくりは、どちらも大変重要なことだと思うが、自己管理能力をどう育てていくのか、どうやって地域社会が健康づくりに取り組む環境を整えていくのかは、大変難しい問題だと考える。例えば、市民自らが判断して選択できる力を育成するため、保育所や小学校での栽培活動などの体験学習を通して早い時期から「食」への興味を育てていく取り組みをもっと積極的に推進していてもいいのではないか。
また、保育所や小中学校での保健指導や呼びかけは、地道な積み重ねではあるが、健康意識を高めることで「大人は変えられなくても、こどもは育てられる」。幼いころから、自分の身体に関心を持ち、向上していこうとすることこどもたちを育てていきたい。
- ・妊婦健診時の歯科健診無料券の配布は、大変有効だと感じた。これをもっといろいろな世代に広げてほしいと思う。それとともに、切れ目のない歯科口腔保健や健康問題への取り組みを目指すためには、企業との連携はもとより働き方改革、自分の健康問題にも目を向け、健診を受けやすい職場環境づくりや、補助制度の整備も不可欠だと思います。
- ・社協としては、サロン活動や通所サービス、公民館活動での取り組みなどを、今後も保健こども課や地域包括支援センターと連携しながら進めていきたいと考えている。そして、保育所や小学校、地域へと広げていきたいと思う。
- ・地域包括支援センターも、目指すところは、「地域包括ケアシステムの構築」なので、微力ながら少しでも手伝いできればと思う。
- ・細やかな配慮がされた骨子案になっているので、これで進めてもらいたい。
- ・歯科保健基本計画（第4次）については、より具体的に細部にわたり3つの項目とそれの実現のためのものが示されている。第3次よりも細かくより具体的な行動指針まで提言できていると思う。

《事務局 健康づくり推進課》

骨子案について、書面審議の結果、出席委員9名全員の承認をいただいた。この骨子を基に素案を作成していく。いただいたご意見については、素案への反映を検討してまいる。